

商用水素ステーション12か所を 首都圏と中京圏にオープン

当社は、2014年12月25日、商用水素ステーション1号店を海老名市で開所したのを手始めに、2015年3月末日までに、12か所の商用水素ステーションを開所した（首都圏9か所、中京圏3か所）。

各ステーションへの水素供給は、首都圏では、現在建設中の集中製造出荷施設から行い、中京圏では、オンサイト型（注1）水素ステーションで製造した水素をオフサイト型（注2）水素ステーションに輸送する方式を基本としている。また、「サービスステーション一体型」の水素ステーションの運営はサービスステーション運営会社に、「単独型」および水素製造出荷センターの運営は、2014年10月に設立されたENEOS水素サプライ&サービスに委託する。

今後、4大都市圏を中心に累計40か所程度の水素ステーション展開を計画しており、残りについても順次開所していく予定である。今後も引き続き、水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的なビジネスモデルの構築を通じて、水素社会の実現に向けて貢献していく。

（水素事業推進部 総括グループ 玉川 晶子）

（注1）水素ステーション内に設置した水素製造装置で原料となるLPGから水素を製造し、蓄圧器に貯蔵、販売する形式

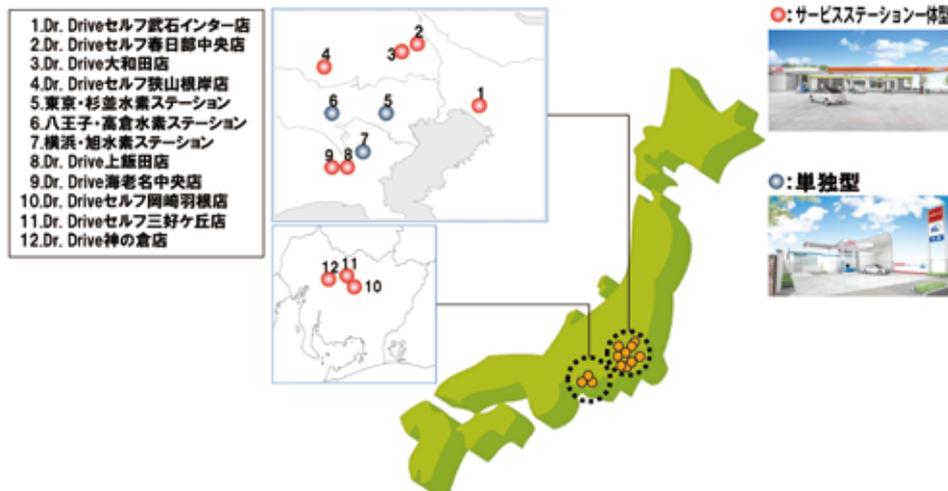
（注2）水素を水素ステーションの外から供給し、蓄圧器に貯蔵、販売する形式



Dr. Drive 海老名中央店 外観



Dr. Drive 大和田店 開所式



2014年度・当社開所済み水素ステーション展開状況